

謡曲・平家物語紀行・下

白洲正子

歴史と文学の旅



歴史と文学の旅

● 平凡社

謡曲・平家物語紀行・下

白化子



白洲正子（しらすまさこ）

1910年（明治43年）東京生まれ。

女子学習院，ハートリッジスクール（アメリカ）卒。

著書に「花と幽玄の世界」「古典の細道」「お能の見かた」など。なお，「能面」「かくれ里」で各々読売文学賞受賞。

歴史と文学の旅 謡曲平家物語紀行・下

昭和48年12月20日 初版第1刷発行

著 者 白洲正子

発行者 下中邦彦

発行所 株式会社 平凡社

東京都千代田区四番町4番地1

郵便番号 102 振替 東京 29639

電話東京 (03)-265-0451

印 刷 株式会社東京印書館

フォト印刷株式会社

製 本 和田製本工業株式会社

© 白洲正子 1973

不良本のお取替えは直接小社サービス課まで
（送料は小社負担）

謡曲 平家物語紀行・下
白洲正子



目次

謡曲・平家物語紀行・下

恋の音取——左中将清経……………	21
簸の梅——梶原源太景季……………	33
旅宿の花——薩摩守忠度……………	43
青山の琵琶——但馬守経正……………	57
青葉の笛——無官大夫敦盛……………	69
王朝の美女——小宰相の局……………	77
千手の前——三位中将重衡……………	87
藤戸の渡り——佐々木三郎盛綱……………	99
八島の合戦——九郎判官義経……………	111
船弁慶——新中納言知盛……………	123
日向の勾当——悪七兵衛景清……………	133
大原御幸——建礼門院……………	143

●コースガイド

謡曲・平家物語の舞台・下

1 公達の最期

2 屋島の合戦

3 壇ノ浦の落日

4 滅亡のあとに

●コラム

千載集

熊谷陣屋

平家蟹

耳なし芳一

太宰府その他

屋島その他

●旅館案内

あとがき



「清経」——扇を楯に擬し剣を抜いて戦う場面



宇佐神宮(大分県)。伊勢に次ぐ社として古来より崇敬されてきた





経正の挿話を伝える竹生島（滋賀県）と前頁は太宰府都府楼跡（福岡県）



此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com



忠度の墓（深谷市・前頁）と六弥太の墓所（岡部町）。さして遠くない町に敵同志は眠る



熊谷寺(熊谷市)の直実の墓所



須磨寺(神戸市)は一ノ谷に近く、敦盛の墓、青葉の笛などがある





源平合戦の華麗な挿話を残す屋島（高松市）と前頁は藤戸（倉敷市）経ヶ島の供養塔

